

# 文化課通信



文化振興係 ☎ 46-2344 博物館係 ☎ 37-1000(分館 ☎ 34-3216) 文化財係 ☎ 46-3446

自主文化  
TOPICS  
事業情報

## 第2回 国際陶芸フェスティバル

**【国】** 国際陶芸フェスティバルは、川根町笹間地区の皆さんを中心に組織した実行委員会により、平成23年に初めて開催されました。2回目の今回も、実行委員会が組織され、11月の開催に向け動き出しました。中山間地域の活性化に向けた取り組みとして多方面から注目を浴びています。

### 【国際陶芸フェスティバル】

国際的に活躍している陶芸家を集め、アートによる地域の活性化を図ろうと、日本を代表する陶芸家「道川省三さん」の協力を得て、平成23年に川根町笹間上にある「山村都市交流センターささま」を会場に初めて開催されました。

1回目のフェスティバルには、海外・国内の招待陶芸家15人をはじめ、国内の若手陶芸家約60人が参加。ワークショップや体験教室、展示販売や交流イベントなどが盛大に行われました。実行委員会では、2年に1度の継続的な開催を計画し、今年で2回目の開催になります。

4月4日には、実行委員長の北島享さんと道川省三さんが市長のもとを訪れ、フェスティバルに向けての意気込みを報告。市長は「国際的な事業が地域の手で実施されることは素晴らしいこと。中山間地域の活性化の

モデルとなるよう頑張ってください」とエールを送りました。

### 【道川省三さんに聞く】

「なぜ笹間での開催を考えたのでしょうか。」

道川さん

「縁あって笹間の地を訪れた際、自然の豊かさと笹間に住む皆さんの心の温かさに触れて、ぜひこの地で国際規模の陶芸イベントをやってみたくて強く思ったんです。この地は、陶芸に縁があつたわけではないので、動き出しの頃、中心となつてくださった皆さんは、本当に大変だったと思います。」

また、世界中から多くの陶芸家が「一カ所に集まりイベントを開催する」ということは前例のないこと。だからこそ、陶芸に関わりのない『笹間の地』での開催は意義のあることなのです。」

「今回のフェスティバルに期待することは何でしょうか。」

道川さん

「今回は招待アーティストとして、海外から8名・国内1名の世界的なアーティストがやってきます。スコットランド出身でありながら東洋の静の感覚を持つジェニファー・リー（イギリス）や、屋外の特設窯で3メートル近いオブジェアートの作製を計画しているニーナ・ホール（デンマーク）など、すごいメンバーがやってきますよ。また前回同様、次代を担う若手陶芸家も60名近く参加する予定です。どなたでも満足できるフェスティバルになると思います。ご期待ください。」

## 道川省三

アートディレクター  
陶芸家（愛知県）



ぶらり  
鳥田の  
宝探し



そのこ



志戸呂焼

志戸呂焼は、安土桃山時代「上志戸呂窯」が始まりとされ、徳川家康が「焼き物免許の朱印状」を与え、保護しました。

江戸時代に入ると、茶道具や日常雑器が多く焼かれ、製品の底に「志戸呂」印があるものも見られるようになり、加賀藩などの大名屋敷でも使用されていきました。

現在でも、その伝統を受け継いだ窯元が活躍しており、黄色や黒の釉薬を掛けた味わいがある焼き物は、まさに鳥田の宝物にふさわしい一品です。



### 《6月の機織体験開催日》

- 2日(日)、4日(火)、5日(水)
- 6日(木)、8日(土)、12日(水)
- 13日(木)、14日(金)、16日(日)
- 18日(火)、19日(水)、21日(金)
- 22日(土)、25日(火)、26日(水)
- 27日(木)、30日(日)